

令和3年度第2回寝屋川市男女共同参画審議会 要約会議録

日 時：令和3年11月15日（火）午前10時00分～午後12時00分

場 所：寝屋川市役所議会棟4階第一委員会室

出席委員：大束委員長、林田副委員長、藤田委員、森川委員、濱田委員、西尾委員、辻谷委員、
榎並委員、新宅委員、鈴木委員、荒木委員、橋本委員（欠席：吉永委員）

事務局：危機管理部人権・男女共同参画課 松村次長兼課長、吉田副係長、井上

○事務局 定刻になりましたので、ただいまより、令和3年度第2回寝屋川市男女共同参画審議会を開催いたします。

初めに、事務局の職員を御紹介させていただきます。

（事務局職員あいさつ）

○事務局 本日の第2回審議会は令和3年9月1日付での委嘱後に、新任の方をお迎えしての初めての開催となりますので、本日御出席いただいている委員の皆様をお手元の名簿順に御紹介させていただきますので、恐れ入りますが、一言自己紹介いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

（各委員 自己紹介）

○事務局 ありがとうございます。それではここで、本日の審議会の成立状況について御報告いたします。委員13名中12名の出席で、委員総数の半数以上の出席をいただいておりますので、男女共同参画審議会規則第5条第2項の規定により、審議会は成立していることを御報告いたします。

それでは、議題1、男女共同参画審議会委員長及び副委員長の選出に入らせていただきます。選出にあたりまして、仮議長を人権・男女共同参画課長の松村が務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

○事務局 委員長、副委員長が選出されるまでの間、私が仮議長を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。議題1、男女共同参画審議会委員長及び副委員長の選出でございます。委員長及び副委員長の選出につきましては、男女共同参画審議会規則第4条第1項の規定で、審議会に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選により、これらを定めるとなっております。従って、どなたか御推薦等ございませんでしょうか。

○委員 これまで委員長をされていた大束委員に、引き続き委員長をしていただけたらいかがでしょうか。

○事務局 ただいま大束委員にお願いしてはとの御意見がございましたが、皆様御承認いただけますでしょうか。

（「はい」の声あり）

○事務局 それでは、大束委員、委員長をお引き受けいただけますでしょうか。

○大東委員 承知いたしました。

○事務局 それでは、大東委員に委員長のほうをよろしくお願ひしたいと思います。

続きまして、副委員長の選出のほうをお願ひしたいと思います。どなたか御推薦等はございませんでしょうか。

○委員 副委員長も、引き続き林田委員にお願ひしたらいかがでしょうか。

○事務局 ただいま林田委員に副委員長をお願ひしてはとの御意見がございましたが、皆様御承認いただけますでしょうか。

（「はい」の声あり）

○事務局 それでは、林田委員、副委員長をお引き受けいただけますでしょうか。

○林田委員 よろしくお願ひいたします。

○事務局 では、林田副委員長、どうぞよろしくお願ひいたします。

以上で、議題1の委員長及び副委員長の選出は終了いたしました。仮議長の任務を終えさせていただきます。ありがとうございます。

○事務局 これ以降の議事進行につきましては、男女共同参画審議会第5条第1項の規定により、委員長にお願ひいたします。

○委員長 それでは引き続き、次第に従って進行いたします。議題2、第5期ねやがわ男女共同参画プラン管理シートにつきまして、事務局より御説明をお願ひいたします。

○事務局 本件につきましては、8月に書面会議にて開催いたしました第1回審議会におきまして、令和3年3月に策定された第5期ねやがわ男女共同参画プランの目標達成に向けた取組の進捗管理等を行うことから、第5期プラン管理シートを作成し、その内容等について御審議いただいたものでございます。

委員の皆様からの御意見をもとに、事務局で管理シートの修正案を作成した後、委員長、副委員長に御相談した上で、管理シートを作成しました。

まず、お手元の資料1、「第5期ねやがわ男女共同参画プラン管理シート（修正前案）に対する委員の意見及び事務局の回答について」から御説明させていただきます。

今回、御意見を4件、委員の皆様からいただいております。

一つ目の意見の趣旨としましては、取組実績と課題については、担当課が把握しやすい内容となっており、いいものとなっているが、自己評価については、男女共同参画の観点から、その事業の評価はどのようなものなのかということをお問うもので、担当課、事業は実際にそれをする担当課が男女共同参画をどのように認識しているかが分かるということが必要ではないかという御意見でした。

こちらにつきましては、資料3の自己評価欄は担当課自身が認識を深められるように、男女共同参画の視点の基準や確認点を設定することとさせていただきます。詳細は後ほど御説明いたします。

二つ目の御意見として、PDCAサイクルを意識するのであれば、「課題」で終わるのではなく、他市のように「改善策」という欄を別に設けたり、次年度の「目標欄」を設けるなどの工夫があってもいい。

また、「具体的取組」と「取組事項」という表現はかなり重なる部分があって分かりにくくないかという意見がありました。ここについては、名称変更の案を頂戴しております。例えば、

「具体的取組」「年度目標」「自己評価」「進捗状況」「課題」「改善策」「年度目標」「担当課」といったように、次につながって流れが分かるようにしたほうが良いという御意見でございます。

こちらにつきましては、「改善点」案を別に設けることとさせていただきます。また、「具体的取組」と「取組事項」という表現が重ならないように、「取組事項」の名称を「年度目標」に変更させていただいております。

続いて、3番目の御意見でございます。

その理由や課題を明確にすると記述されておりますが、担当課の方が担当できなかった理由を必ず記入されるかどうかは気がかりです。担当課の方がプランの意図を理解して分析されることが重要。

もう1点が、「進捗状況」「課題」の名称変更。名称はこのままで、事務局の方が意図を説明して達成できなかった理由を記入してもらおう。どちらかがよい。達成できなかった具体的な理由は、担当課にしか分からないと思うので、具体的な理由は、担当課だけではなく、全ての課が抱えている課題である可能性もあるかと思えます。という御意見でございます。

こちらにつきましては、「進捗状況」「課題」の名称を同一欄である一つの欄にしていると、「進捗状況」と「課題」が混在するような曖昧な記述となり、プランの意図の理解が進まない懸念があると考えられることから、「進捗状況」「課題」の名称を、「実績」に変更させていただいたとともに、また先ほどと同様、「改善点」の欄を設けさせていただきます。

4番目の御意見でございます。

他市のように「改善策」の記入欄があってもいい。問題点を検証して、その問題点に対する改善策は一体何なのか、どうすればよいのかを同時に検討していくことが可能になる。

こちらの御意見につきましても、先ほどと同様、「改善点」欄を別に設けさせていただきます。

今申し上げました意見及び回答の中で、新たに前回の審議内容から大幅に変わりましたところを御紹介いたします。

資料2の修正後案の一番下でございますが、意見1に対応する内容の男女共同参画の視点の基準や確認点の設定内容でございます。

もともとの評価というのが、資料3にあるとおり、「自己評価」という表記で、A、B、Cの3段階評価基準案でございます。

ですが、委員の皆様からの御意見を反映するに当たりまして、担当課が男女共同参画の視点とは具体的にどのような視点であるのかということ把握できなければ、担当課自身が適切に実績評価をすることが難しいこと、また今後の改善点を男女共同参画の視点を盛り込むことで作成することも難しくなるということが判明したことから、新たに、男女共同参画の視点の確認ポイントを事務局案として設定したとともに、評価の目安につきましても、数値で捉えるようなことができないような年度目標に対しての実績はどの程度であるのか、どれほどの出来であったのかということ把握してもらう必要があったことから、より詳細に男女共同参画の視点に基づいた自己評価の目安を設定させていただきましたので、読み上げさせていただきます。資料2の下部でございます。管理シートの評価項目について。男女共同参画の視点の確認ポイントといたしまして、1点目が、事業の企画・立案・実施課程に、性別に関わりなく参画しているか。2点目が、

事業への参加やサービスを利用した人々の性別データを把握しているか。3点目が、性別に関わりなく、事業への参加やサービスの利用ができるよう配慮しているか。配慮というのは時間帯、曜日、一時保育等です。4点目が、事業の効果が合理的な理由なく、特定の性に偏っていないか。こちらは、単純に男女仲良く、男女同数、同一、フィフティー・フィフティーということではなく、あくまでもその事業が男女共同参画の視点で最大限配慮した上で視点を確保できているかというところを確認ポイントとさせていただきます。

続きまして、この四角の右側の評価の件ですが、こちらもより詳細にさせていただきました。

目標のA、B、C、3段階です。こちらの3段階は変わっておりませんが、Aは達成度80%以上。この上で年度目標に設定した取組について、男女共同参画の視点をもって実施し、十分な取組の効果が得られたと、より詳細にいたしました。

Bです。達成度は40%から80%。年度目標に設定した取組について、男女共同参画の視点をもって実施し、取組の効果が得られた。

Cです。達成度40%未満。こちらは未着手。また年度目標に掲げた内容の廃止等も含んでおります。年度目標に設定した取組について、男女共同参画の視点をもって実施したが、取組の効果が少なかった。または得られなかったというような内容を設定しております。

今後は、この場で御承認いただいた場合は、こちらのシートを確定して、担当課に配布した上で、担当課が年度目標を設定して、「取組実績」「評価」「課題」「改善点」を年度終了後に考えていただいた上で、10年間の進捗管理を行うこととなります。以上でございます。

○委員長 御説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、質問等、御意見などございませんでしょうか。いかがでしょうか。

○副委員長 担当課で、課題、目標を設定したものに関しては、そのまま受け取って終わりということなんでしょうか。出てきたものに関して、こちらから何かもっとほかにこういうことはできないでしょうかと働きかけるとかそういうことはなく、もう担当課のほうで立てた目標がもうそのまま年度を通して取り組まれる。多くの場合、こういうのが回ってきますと、私だったら昨年度のを参照して、ほぼそれと同じような形で、ある程度その高い評価が年度末に期待できそうな項目を書いてしまうのではないかなと思うんですけれども、そのあたりはいかがなんでしょうか。

○事務局 従来も、副委員長が御指摘されたとおり、各課が立てた年度目標については、人権・男女共同参画課としても、目標について特段指摘をしてこなかった部分ではあります。今回につきましても、あくまでも事務局の意思も分かっていた上で、担当課自身が実質的目標を作って、その達成に向けて取り組むのが大事だと考えてはいますが、その目標が男女共同参画の視点から逸脱してるような場合については、目標の再考等も適宜行っていくこともあるかと思っております。特に今年の場合はプラン1年目になり、前回のシートから大幅に内容が変わっているので、期限までに目標を立ててくださいだけで、質問を受け付けないだとか、こちらから説明なしに、男女共同参画の趣旨というものを適切に理解いただけるとは考えていないので、都度そういった説明等を行って、より男女共同参画の視点が確保できるような目標設定を、こちらからアシストしていく必要は出てくるかとは思っております。

○委員長 私のほうから1点あるのですが、先ほど御説明の中で課題と改善点を分けて記入するような形にされたというのは非常に担当課にとってみても分かりやすいし、我々が見ても分

かりやすいというような状況になっていて、非常にすばらしいものにできたかなと思うんですけども、ただこの管理シートが担当課のほうで書かれて、まとめ上げて上がってくるのが8月や9月になる状況があって、その時点でこの課題が何で改善点が何とかっていうようなことを提示されても、年度が半分ぐらい終わってるというような状況にあって、そこで何か審議会で、いやこれはこういうふうにしたらいんじゃないですかというようにすることについても、担当課のほうを持ち帰って事業を修正しづらいというようなこともあるかと思うんですよね。

なので、このシート自体は書いていただく形をお願いできればと思うんですけども、その際に、例えば担当課に、現状こんなことが問題なんだとか、こういうところで改善点について考えが行き詰まってるといった点を、事務局で取り上げていただいて、直近の審議会で、この担当課ではこのようなことが今問題になっているようなので、何かアイデアをいただけないだろうかとかというように形で、審議会のほうを活用していただいたほうがいいのではないかと思いますので、このシート自体はそのまま記入いただけたらと思うんですけども、その点に関しては少し先取りして、審議会のほうに提案をいただきたいなと思います。いかがでしょうか。

○事務局 御指摘いただいたとおり、年度が終わってから実績照会、また改善点、課題等を作るに当たっても、時期が超過してしまって、修正しようがないといえますか、審議会の知見を加えて、より次年度、そこから先に向けた形で、より前向きかつ現実的なものに今まではなかなかできてこなかったという現状も承知はしております。それをしていくことで審議会と担当課と事務局とが連携し合って、担当課の持つ事業の男女共同参画の推進の完成度を高めていく必要というのは今後あるかとは思いますが、今までの10年間と全く違うような形で、より審議会による知見等を加えて、より先進的な事業の実施、またはその検証ということも行っていく必要はあるかと思っておりますので、そのスケジュール感につきましても、今までだと男女共同参画のこの事業の推進、結果の収集であったり、そこと男女共同参画審議会のスケジュールの調整っていうことがなかなか合わなかったところであったかと思っておりますので、そのような点につきましてもより効果的に御意見いただいたりできるような形で、こちらのほうとしても検討を進めていければと思いますので、お願いいたします。

○委員長 ぜひともお願いいたします。そのほかにございませんでしょうか。

○委員 今日の審議会でシートの件について、皆さんから意見をいただいて、この後のスケジュール案というのはどうなっていくんでしょうか。

○事務局 本日、スケジュール案がこのまま承認いただければ、これが正式なものとして、少し遅くはなってしまうんですけども、5期プランに書かれている担当課に速やかにこちらのシートで、令和3年度の事業の年度目標を定めていただきます。その上で年度が終了しましたら、例年と同じように、総括の時期等も含めた上で5月ぐらい、前年度の評価等がおおむね固まった段階で実績と評価と課題と改善点を各担当課に照会をかけて、回答を集約するというスケジュールで、年に2回、目標と実績と照会をかけるようになります。

○委員 各担当課には当然見直しをしていきながら、半年、今、年に2回という話だったので、途中経過みたいな形になっていくと思うんですね。年度最終締め。いいシートができたので、進捗状況とかしっかりやり取りをしていただかないと、机上の評価だけにならないように、そのあたりも男女共同参画の意味をさらに具体的に、忙しい担当課に評価していただくようになっていくと思うので、しっかり心配りいただいて、意見を吸い上げていくように、形だけになら

ないように、お願いしたいと思います。

○事務局 今、御指摘いただいたみたいに、今後実効性のあるようにしないと、やはり書くだけ書いてそのままだと、実効性の乏しいものになりかねないので、事務局としましても担当課のほうに都度アドバイスであったり、委員の皆様からの御意見等も適宜反映させていただくような形で適切に進めてまいりたいと思います。

○委員長 つけ加えてなんですけども、これまでの事業の取組の報告を見ていると、担当課が困っているなというのが分かる取組もこれまで多々あったんですね。ただそれが報告されて上がってくる時期が夏や秋になると、結局それを担当課に反映していただくようなことが非常に難しくなるので、できましたら先ほどお話があったように、その都度、特にこういった点でちょっと行き詰まってるんだというようなところに関しては、審議会に提案をいただいて、委員の皆様から意見をいただくというようなシステムができればいいかなと思いますので、その点もヒアリングで困っているというような状況を吸い上げて、審議会に諮るということを事務局のほうで、仕事が増えますけれども、御担当いただけるとありがたく思います。

○事務局 承知しました。今、委員の御意見もありましたとおりで、こちらのほうで委員の皆様は打開策だったり、そういったものをお諮りする機会や、担当課の困り具合の把握についても、その事業の進捗度に応じて適宜できるように、協力させていただきます。

○委員長 お願いいたします。

○委員 今おっしゃったみたいに、何か困ってることを吸い上げるということは、困ってるってことが分からないとなかなか難しいって思ってて、私、職員さんとか男女共同参画推進本部さんで何回か研修をさせていただいたことがあったんですけども、終わった後お話を職員さんとしていたりすると、なかなか毎日の業務で忙しい。当たり前のことだと思うんですけど、その中で学校ではそういうふうな男女共同参画とかジェンダーというのを聞いたことはあるけれども、実際にその政策とか日々の対応の中で、そういう視点をもってやっていくということっていうのは、なかなか難しいところがあるというようなお声も聞いたことがあって、何が問題かっていうのがなかなか分からないという言い方はちょっと大変失礼な言い方ですね。どれを問題とするべきかというところがこちらが思ってることと少し乖離してるのかなっていうこともあって、そのように感じました。

○事務局 現場の各担当課も男女共同参画を主体とする事業じゃないものを行っている、それが日常業務の大半を占めている中で、急にこの男女共同参画のことについて分かってよってなると、何が課題なのか、自分たちも掴み方が分からないし、何が課題なのかも分からないし、課題はこれだというように探す時間の確保もなかなか難しいところもありますので、そこにつきましても我々、また委員の皆様にも、例えば中間報告をお示しするだとか、何が課題なのか分からないというような課題も吸い上げていく。この担当課のこの事業はやってはみたけれども、何が課題なのか今一つ担当課も分からなかったというようなものも出てくるかとは思いますが、そこに対してこの事業の課題はここじゃないだろうかというような指摘や提示、ここをこうしてみてもどうだろうかというような解決案等も審議会から提示できることが必要ではないかなと思いますし、それを担当課の代わりに示してあげるといってもまた男女共同参画課としても必要なことかと考えますし、また審議会の委員の皆様からも御意見頂戴すべき点でもあるかとは思っておりますので、担当課が短時間でピンポイントで男女共同参画の視点を把握して、業務の効率

化の中で男女共同参画の視点を確保して、事業を前に進めていってということも、今後の働き方の意味でも非常に重要なことというふうに思いますので、そういった機能もこちらのほうで検討等も進めていくことができればと思います。

○委員長 では、お願いいたします。

○委員 今課題が分からないというお話があったんですけど、男女共同参画についての目標と課題ってというのは、男女共同参画課から与えてるわけではないんですか。例えばこの例示にあるように、委員の女性比率が低いという課題があって、それをどう解決するんですかっていうのを各課に投げてるのかなと、僕は勝手に思ってたんですけど、そうではなくて、各課が自分の課に対する課題を考えてくれるってことで出してるという理解なんでしょうか。

○事務局 この課題っていうものは、あくまでも担当課が自分でここが課題だというふうに判断して、担当課自身で記入することになっております。

○委員 それをこの11月半ば過ぎてから出して、今年中に解決してくださいっていう、これはコロナの影響で遅れているという理解でよろしいでしょうか。

○事務局 一回目の審議会が8月ということで、大幅に例年に比べてずれ込んでしまったというのもあって、この進捗管理シートの作成が少し遅れてしまったというのもあるんですけども、今年度内、令和3年度内につきましては、担当課にはあくまでも令和3年度の年度目標を記入し、年が明けて、令和4年度の春に令和3年度の立てた目標に対しての実績、評価、課題、改善点の4点を確認することになります。

○委員 だから年内に目標を立てていただいて、1、2、3月の結果を春に報告するというような形でしょうか。

○事務局 2、3月だけというよりは、今年度の4月にさかのぼって年度目標を立てて、照会をかけるのはこの冬になってしまうんですけども、年度目標、その実績などは令和3年度の4月1日から3月31日までの1年間を通して作っていただくものになります。

○委員 じゃあ照会をかける前に、皆さん頭に各課は入ってるということですね。

○事務局 新しい目標を立てた課もありますし、従来と変わらないような課も様々あるんですけども、そういったところですね。

○委員 承知しました。ありがとうございます。

○委員長 少し補足をいたしますと、この表の修正後のシートのところの具体的取組等担当課というところは、第5期ねやがわ男女共同参画プランにおいて書かれているものなんですね。それで、その具体的取組として10年間こういうことをやりますというふうなことで担当課から出していただいて、そこの中の初年度として、このような目標でやりますというところは、恐らくこれまでのシートもそういった書き方になってましたので、10年間の中での初年度としてこういうことをやりますというのは、担当課でも決められているというふうに思います。その中で、その年度目標に基づいて、もう11月ですから、半分以上過ぎてますので、やられてるものもあればやられてないものもあるというのが現状だと思いますので、今回これを出させていただいたということで、多分取組実績のところまではこれまでと同じような形で、要するに管理シートと同じような形になってますので、それ以降のところを少し、もう少し詳細に事業の内容、評価、課題、そしてまた今回改善点というのもつけましたので、こういったことをやった結果として、どういう評価を行って、ここが課題だったのでこういう改善点を考えているってというような

ところを付加するというか、こういうようなものもつけ加えて評価をしていただきたいというようなことになるのではないかと思います。

○委員 ありがとうございます。

○委員長 よろしいでしょうか。それでは、最後なんですけどもね、この管理シート自体、一応5期の10年間使うことになるかと思うんですけども、1年ごとにこういうようなものを加えてみてはどうかとかというような見直しもしてもよろしいのでしょうか。

○事務局 単年度ごとの見直しとなると、ちょっと我々のほうでもそこまで考えてなかった点ではありますが、おおよそ半期といいますかね、5年ぐらいかなと考えていたところはあったんですけども、ただ一応これを出してみても、やはり効果的に事業の検証と立案がしにくいということが分かった場合は、それを厳守するよりも適切に手を加えたほうが本来の目的に合致するというのであれば、速やかに手を加えることも必要になってくるかと思しますので、また、単年度ごとの評価シート基準の見直し、これも時代によって、また新たに追加したり削除したりするものが出てくることも今後考えられますので、そういった男女共同参画の潮流といいますか、そういったことも適切に管理シートに反映していくこともまた必要じゃないかなとは考えておりますので、毎年1年度ごとのシートの見直しだったりということも必要に応じてやるべきところはやっていく必要があるかと考えております。

○委員長 少し気がかりなのは、管理シートの評価の項目について、確認ポイントを上げていただけてますが、果たしてこれだけでいいのかどうか、このポイントによって評価をされるというのであれば、ここのポイントがどうなのかっていうのが少し考えるところではあるんですけども、一度やってみて、少し文言を修正してもということであれば、一度これでやってみて、また改善を図っていくという、管理シート自身のPDCAサイクルというようなものも図ってみてもいいのではないかなというふうに思いました。

○委員 これは確認というか、質問なんですけれども、このシートの中に担当課の方が書く「自由記述」というような欄はあるのでしょうか。

○事務局 「自由記述」というものは特別に設けていません。あくまでもこの実績、評価、課題、改善点というタイトルに応じた内容を書いていただくということになります。ただ、ここには書き切れない新たな課題とも改善点とも言い切れないようなものが出てきたり、このシートの枠に収まらないようなことなども出てくる可能性というのはあるかと思しますので、そういった場合は別途担当課のほうから何とも判断しようがないというような内容も吸い上げた上で、ここに落とし込めるものは落とし込んで、それでも落とし込めないようなものについてはまたその備考欄という形で、そちらについても広く担当課から意見をいただけるようなこともまた必要かと考えますので、その辺も含めてまた来年の配布とさせていただければと思います。

○委員 ありがとうございます。思ったのは、私たちは多分シートを見させていただくだけになってしまうので、紙ベースのキャッチボールみたいな感じになると思うんですけど、例えば担当課の方がこのシートのここは書きにくかったとか、例えばその目安ってこれでよかったのかみたいなことを逆に投げかけてもらえるような欄というか、自由記述ってさっき申し上げたんですけど、そういうところがあればこちらからこういうこと書いてくださいねって、こういうふうをお願いをして、担当課のほうからも、いや、実はここがこういうふうな形だからこうしてくれたらもっとやりやすいというような意見なども、伝えていただくっていうのもいいかなとは

思いました。

○事務局 分かりました。またそういった担当課のほうからこちらのほうに声を上げやすいようなこともできるかどうか、照会時にそのように伝えるようにはしたいと思います。

○委員 今回初めて参加させてもらったので、ちょっと中身が分かりにくいところがあるんですけども、共同参画プラン管理シートの前に、プランというのは前いただきました第5期ねやがわ男女共同参画プラン、ここの14ページのところのこのことなんですか。プランの内容であらゆる分野における、そのことについて各課の方にさせていただく。

○事務局 具体的に、各担当課が管理・把握するというのは、16ページからになってまいります。

○委員 あらゆる分野における女性の活躍推進。

○事務局 17ページに、施策の方向と具体的取組という形で、こちらの修正案と同じように具体的取組の内容と担当課が記載しております。ただ、この取組と担当課の間をどう見るのかというところが、その目標を立てて実績を記入して評価をして、その課題を抽出して、その抽出した課題の改善点を書くというようなものになってます。

○委員 プランの提案としては、この14ページの目次のところに出てるような、このようなことを一応プランとして提案されたということなんですね。

○事務局 そうですね。

○委員 4期のときに皆さんがいろいろ検討していただいた10年間の成果がここに出るとのことなんですね。

○事務局 そうですね。それも今までの審議なり、過去の実績等も含めて、この施策の方向性や、その課題の内容、数量等も審議いただいてというところであります。

○委員 すみません、どうも。初めてなもので、基本的なことをお聞きいたしました。

○委員長 それでは、よろしいでしょうか。この後、グループディスカッションのほうで、特にここが分からないんだけどというようなところなどもお話をしていただけたら、事務局のほうとしてもそちらのほうにいろいろ御説明いただけるかと思しますので、グループディスカッションをさせていただきたいと思います。

それでは、ただいまの説明につきまして、御質問等ございますでしょうか。

特に御質問がないようであれば、管理シートの様式につきましては、こちらの修正案というふうな形で決定をさせていただきたいと思しますので、よろしく願いいたします。

それでは次に、議題の3、グループディスカッションについてです。

事務局から御説明お願いいたします。

(グループディスカッションの説明)

○委員長 私からもなんですけども、寝屋川市の総合計画の中では「フューチャー・プル」、要するに未来のことから現状の課題を考えて、そこを改善策を考えていくというふうな形を、今期からの総合計画の中に盛り込まれていますので、男女共同参画の計画の中にもそうしたことを考えるというようなことで、テーマのところでのイノベーションを創造するというふうな形で書かせていただいたんですけども、その一つとして、少し10年後どういうふうな社会になってたら

いいかなというところから、こんなことやったらいいんじゃないのかっていうふうなことを、皆様と御議論できたらなと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、ただいまの説明で何か質問等ございますでしょうか。

なければ、今の説明を踏まえまして、グループディスカッションを行いたいと思います。

(グループディスカッション)

○委員 私たちのグループは、皆さんそれぞれに実体験からのお話がたくさん出て、とても楽しいワークになりました。現状はどうなんだろうっていう話がありまして、例えば高齢のことを考えてみても、今から親の介護どうしようかなとか、実際自分がもう高齢になってきてどうしようかなみたいな、そういうような一人であることの不安っていうのもあるし、例えば仕事と家庭のことを考えてみたら、今まで自分がやってきた中で仕事を頑張り過ぎたんじゃないかなとか、そういうふうな課題も出ておりました。

ほかにも、世代間の中でちょっとギャップがあるんじゃないのかなっていう話も出て、年齢が高い方とお話しすると、どうもちょっと自分の感覚と違うんじゃないかなとか、逆に自分とちょっと下の人が話すときちょっと違うんじゃないかなみたいなことがあったりですね。

例えば、教育のお話もありまして、具体的に、ダンスという授業が今あるんですけども、そのダンスっていうのが今必修化、中学とかは必修化になっておりますけれども、やっぱり苦手という子もいるわけで、必修になったばかりに、なのでちょっとそれが辛いっていうこともあったりするっていう話もありましたので、それは教育の問題になると思うんですが、あと現状を見ると、男性がすごく生きづらいんじゃないかなっていう話がありました。ちょっと頑張り過ぎてたりとか、あとは弱音を吐くことができないとか、そういうふうな課題も今あるんじゃないかなというお話がありました。

あと、教育の中でなんですけれども、DVのこともそうなんですけど、教育の中でしっかりと相手の人権を尊重していくっていうような教育がなされるべきではないかなという、それをすることによって若年層で相手を大切にするとか、相手を支配してはいけないとか、そういうふうな意識も芽生えてくるんじゃないかなというお話もありました。

最終的にそういうふうな課題を踏まえて、これから寝屋川市どういう社会になってほしいかなということなんですけど、「自由で余裕があって、いろいろな家族の形があって、いつでも自分の選択を変えてオーケーと言われるような寝屋川市になってほしいな」ということなんですけど、もうちょっと具体的に言うと、この「自由」っていうのは、選択枠の多さなんですよ。なので一つの選択枠じゃなくて、いつでもどのライフステージでも自分の考え方や生き方を変えることが可能であって、それを認めてくれる社会であってほしいなということですよ。寝屋川市が。さらにいろんな形の家族があってもいいんじゃないっていうことですね。血のつながりだけじゃない、そういう家族があってももちろんオーケーなんじゃないかなっていうことですね。そういうことが実現すると、いわゆる男女共同参画というか、男性も女性も輝ける、そういうふうな形の社会が出来上がっていくだろう、っていうほしいなというような形ですかね。

このようなことで話をさせていただきました。とても楽しい時間でした。ありがとうございます。

○委員 私たちのグループでいろいろ案は出たんですけども、すごくまとめるのが難し

くて、これってどういうことだろう、これはこっちに入るのかなとかいうことで、本当にもういろんな分野というか、いろんなところに関係あるよね、この考え方ってっていうような案がたくさん出ました。でも結局最終的には、属性を書かなくていい社会であるとか、主婦だとかパートだとか公務員とか、何かそういうのを書かなくても、一人の個人として認められる社会、男女に縛られない社会とか、女性女性って言うけれども男性も生きやすい社会であるべきだよっていうことで、女性が生きやすいイコール男性も生きやすい社会というのを目指すのが一番だよっていう話をしました。

やっぱり人生の先輩の御意見からすると、やっぱり時を経て改善の方向にだんだん男女共同参画っていうのは進んでるんじゃないかな。もっともっとこれを進めるためには、こういった審議会の場を活用して、意見を活発に交換して、少しずつでも前に前にという気持ちでやっていくのが大事なんじゃないかなっていう話が出ました。

具体的なこと、どんなことを話したのかなというのはバトンタッチさせていただきます。

○委員 具体的に何を話したのかというのが一番説明しにくいんですけども、まず、左側のところに、こんな社会になったらいいなっていうのはこうなりました。

上から順番に、SDGsのジェンダー平等が達成できたらいいなということで、特に女性のこの地位を向上していける、された社会ですよ。要するに女性も男性も同じような形で活躍できるというような社会がいいなというのが、この一番上のところです。

そのためには、女性、男性、相互に理解し合うというふうなことが必要であると同時に、LGBTの人たちに対しても理解が進んで、生活がしやすい社会が必要なんじゃないかなというのが、これが2番目のところです。

3番目に、次世代を担う子供たちがやっぱり自由な生き方を選択できる社会っていうふうなものがやっぱり必要なんじゃないかなというふうなこと。

4番目に、〇〇休が取れる社会っていうふうに書いてあるんですけども、様々頑張っている中で、働いている、例えば家で主婦をやっている、介護をやっているというようなときに、やっぱり休みたいっていうふうにしたときに、休めるような社会っていうふうなものが必要なんじゃないかというので、休みが〇〇休が取れるっていうような社会。

この四つについて、こういった社会になればいいなというふうなのを考えたというようなことです。

一番上のところですね、女性も男性もともに活躍できるっていうふうなところで、例えば女性が働くロールモデルを作るとかいうふうなことであるとか、主婦が起業できるような社会にするとか、介護保険や保育事業の事業者の給料をアップさせるとかというふうな、様々な意見というようなものが出ました。

特に、会社で娘が事業継承できるっていうようなことがもう普通に極めて当たり前になったらいいなっていうふうなものが出ました。

2番目に、こうした相互の理解っていうところで、地域の人たちの人間関係であるとか、様々なこの団体、グループっていうふうなところがどういうふうにつながっていくのかというふうなことであるとか、あるいはこれからの社会で、どうしても何か結婚してる男女というところが中心にこれまでされてきたんですけど、様々な生き方っていうところでいうと、やっぱりシングルへの支援というのをもう少しやっていく必要があるんじゃないかなっていうようなことがありま

した。

子供たちが自由に生き方を選択できる社会としては、早いうちから、早期にライフプランニングというふうなものができるようにするっていうふうなこととか、男女共同参画の教育の工夫っていうようなことが出ました。

最後に、休みが取れる社会というので、特に男性の育休、やっぱり取れるようにするっていうことであるとか、そうしたことをまず市役所の中でやっぱり実現していくということが、こういうふうなことをやったらいいんじゃないのかっていうふうなことが出ました。

何か、先ほどお話がありましたけど、まとめるのが大変だったということなんですけど、こういったところで御容赦いただけたらと思います。

以上です。どうもありがとうございました。

○事務局　それでは、これでグループディスカッションのほうを終了したいと思います。どうもありがとうございました。